

<div>共通仕様</div> <div>1 設計図書に記載されてない事項は、以下のとおりとする。<div>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（最新年度版）」</div><div>「公共建築改修工事標準仕様書（最新年度版）」</div><div>「公共建築設備工事標準図（最新年度版）」</div><div>電気設備工事・機械設備工事及び建築工事の各々対応するものとする。</div><div>土木工事</div><div>甲府市「土木工事共通仕様書」（最新年度版）及びこれに基づく山梨県土木部監修「建設工事必携」</div><div>下水道工事</div><div>日本下水道事業団「機械設備工事一般仕様書（最新年度版）」及び「電気設備工事一般仕様書（最新年度版）」</div></div> <div>2 法令等の遵守</div> <div>本工事に当り、次に示す各種法令等を遵守して施工すること。<div>(1)道路交通法</div><div>(2)労働基準法</div><div>(3)労働安全衛生法</div><div>(4)その他関係法令・規則等</div><div>また、「甲府市暴力団排除条例施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者が下請負者を用いる場合は、末端の下請負者まで反映させた次に示す書類を提出すること。<div>(1)下請施工（再委託）体系図</div><div>(2)施工体制台帳（様式16・17）</div></div></div> <div>3 建設副産物の処理</div> <div>工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物処理法に基づき当該廃棄物の処分業の許可を取得している施設で適正に処理すること。産業廃棄物管理表（マニフェスト）等により適正に処理し、監督員にその写しを提出すること。また本工事は、建設副産物実態調査の対象工事であり、請負者は国土交通省のホームページ（計画書・実施書）（EXCEL様式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。（以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可）</div> <div>工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD等）により監督員に提出するものとする。なお、入力した工事データは自社で1年間保管するものとする。</div> <div>※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。</div> <div>URL <a href="http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm">http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm</a></div> <div>受注者は、法令等に基づき再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</div>		
--	--	--

4 建設機械等

排出ガス対策型建設機械及び低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議すること。また、指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を撮影し、監督員に提出するものとする。

また、過積載防止対策、車両・使用機械等の点検整備、重機操作時の安全記録及び仮設（足場・山止め等）の管理記録など監督員に提出すること。

5 安全管理

施工前には、安全計画など管理体制を確立し施工計画書に含め承諾を得ること。

現場入場前には新規入場者教育、施工中はKY・安全教育・安全巡視等、月に1回程度は社内パトロールを実施すること。

6 提出書類

本工事において次の書類を提出すること。

(1)承諾図書類2部

・工事用材料等選定届及び承諾願

・施工計画書

・施工図

・その他監督員の指示する図書

(2)完成図書類

・完成書類1部

・工事写真1部

・電子媒体(CD-R)1部

竣工図、施工図[jww-cadで開ける形式とtiffもしくはpdf]

建設リサイクル報告様式[xlsx]※電子媒体の納品は、ウィルス対策ソフトで必ずウィルスチェックを行うこと。工事名称、工事場所、契約番号、発注者担当部署、請負者名、作成年月、ウィルスチェックに関する情報を明記し、原本性を証明するため直接署名又は捺印を行う。

工事写真[pdf]

一般事項

・本設計書は、工事の概要を示すものであり施工者は、現場着工前に十分なる調査と理解の上、速やかに実施工程表及び施工図面・工事施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けて工事を施工すること。

・本工事に際しては、処理場業務に支障なきよう施工し、安全管理・騒音・振動等には十分気をつけること。

・工事進捗状況に応じ疑義が生じた場合及び細部不明の際は、速やかに監督員と協議しその指示により施工するものとする。

・本工事において、図面・特記仕様書に疑義が生じた場合及び、それに明記なきものでも技術上・構造上・美観上当然必要なものは監督員と協議の上、誠実かつ良心的に施工するものとする。なお、その費用は請負者負担とする。

・設計図寸法はあくまでも参考とし、必ず現地調査を行い製作・施工するものとする。

特記事項

・施工前に監督員及び維持管理者と協議の上、施工日程等を決定すること。

・本工事は、下記の理由により週休2日制適用工事としていない。令和7年5月15日から適用する「週休2日制適用工事実施要綱」第3第2項による協議により週休2日を実施する旨の施工計画書の提出がなされた場合は、履行状況に応じて設計変更の対象とする。

○週休2日制適用工事としない理由：施工に必要となる日数が1週間に満たないため。

・工事終了後は清掃を必ず行い、補修が必要な場合は監督員と協議の上、良心的に行うこと。

なお、その費用は請負者負担とする。

工事内容

・No.2破砕ポンプ更新 1台

・上記に伴う基礎はつり工事及び穴部分の復旧工事

・試運転確認

破砕ポンプ仕様

参考型番：KDA300-TS（既設型番：HD12）

型式：横形

口径：吸込 φ300mm

破砕量：2.0m3/min

全揚程：9.5m

取扱流体：汚泥

電動機：30kW、屋外全閉防まつ形、連続定格

電源：400V×50Hz×3φ

主要部材質

コモンベース：FC200又はSS400

ケーシング：FC200以上

軸：S45C(相当)以上又はSUS304

加圧羽根車：FC200

破砕部品：SC450＋ステライト肉盛担当

保護装置

封水継電器(注水仕様の場合)

塗装：日本下水道事業団仕様

付属品

コモンベース 1個

基礎ボルト・ナット 1式

グランドパッキン 1台分

カップリング

カップリングカバー

ベース

操作方式

中央監視(自動・単独)及び現場

自動運転

起動指令：汚泥ピットレベル低

起動条件：保護継電器不動作

構造

破砕部分は摩擦等の少ないもので、長期の使用に十分耐える材質・構造とする。

回転刃と固定刃のクリアランスは外部より容易に調整できるものとする。

破砕ポンプの破砕用の回転刃及び固定刃等の収納されている部分は密閉構造とする。

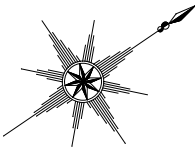
また外部から注水することにより、洗浄排水できるものとし、刃先は耐摩擦性のある材質を肉盛りするものとする。

その他

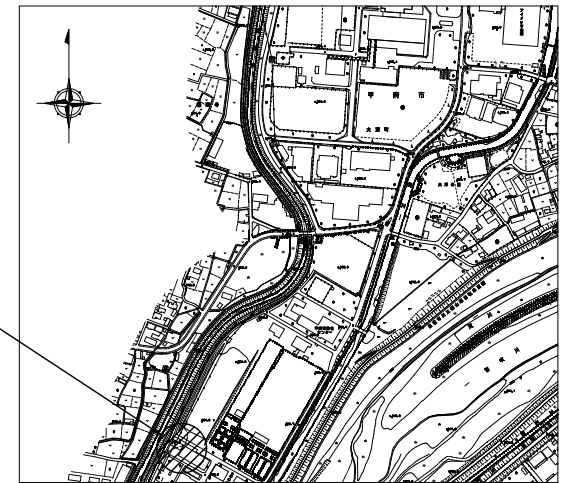
・配管内の汚水、汚泥を抜く際は、必ず養生をすること。

・工場において清水により性能試験を行うこと。

・撤去する既設ポンプに関わる不要部品についても撤去を行うこと。

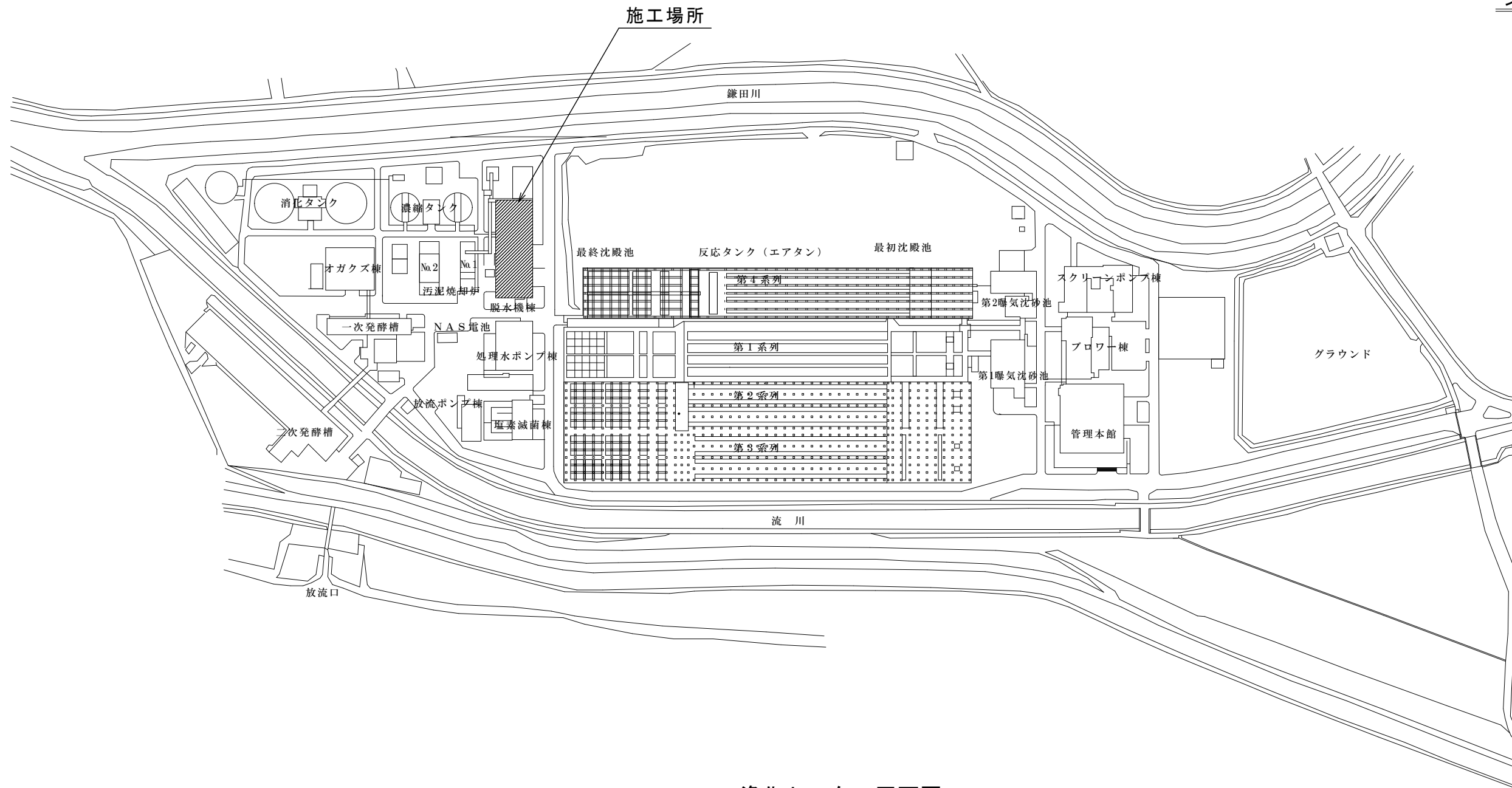


甲府市浄化センター



案内図  
S-NON

施工場所



浄化センター平面図  
S-NON

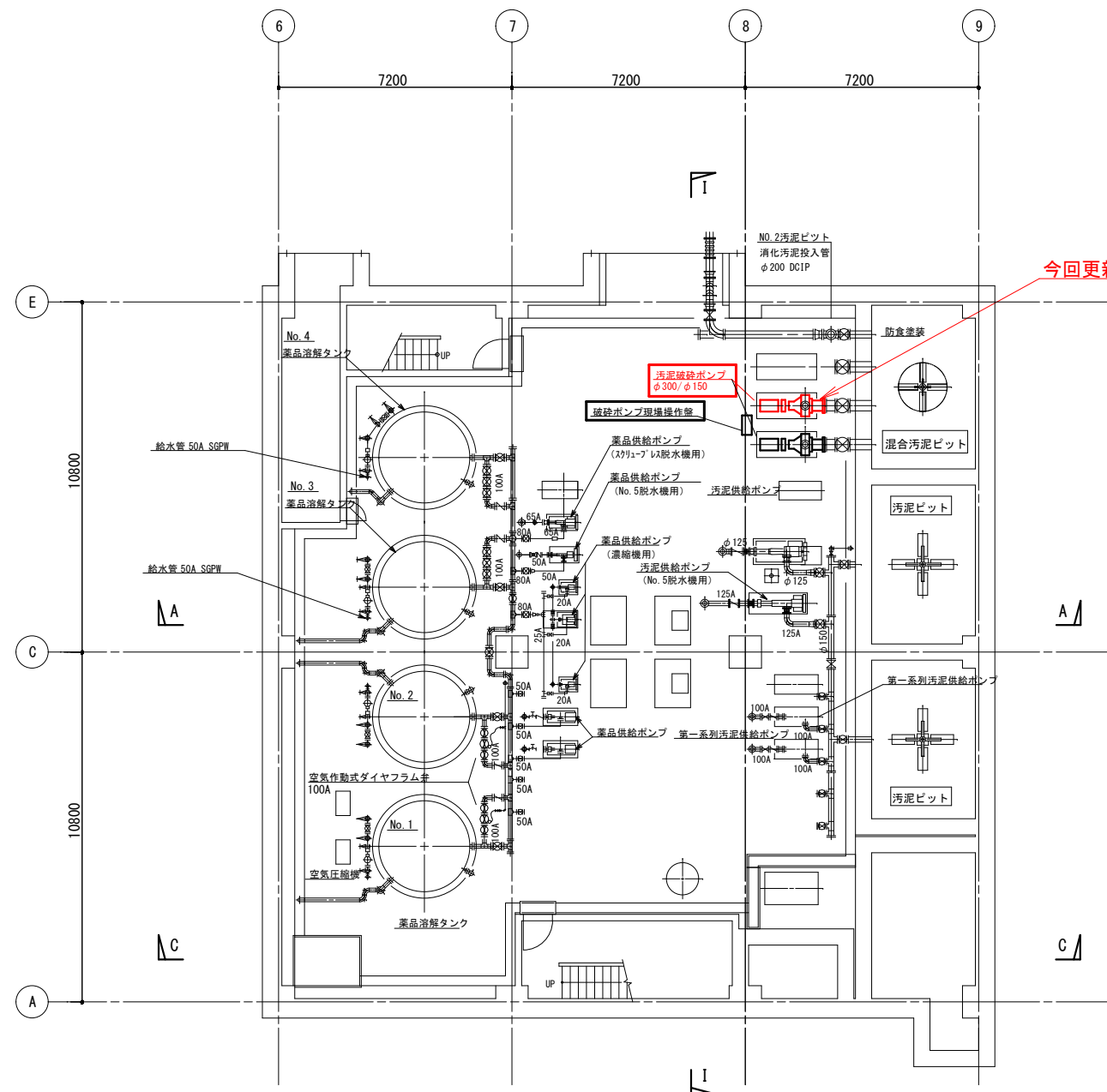
工務部 下水道管理室 浄化センター

縮尺  
S-NON  
設計年月  
令和7年7月  
担当  
有泉

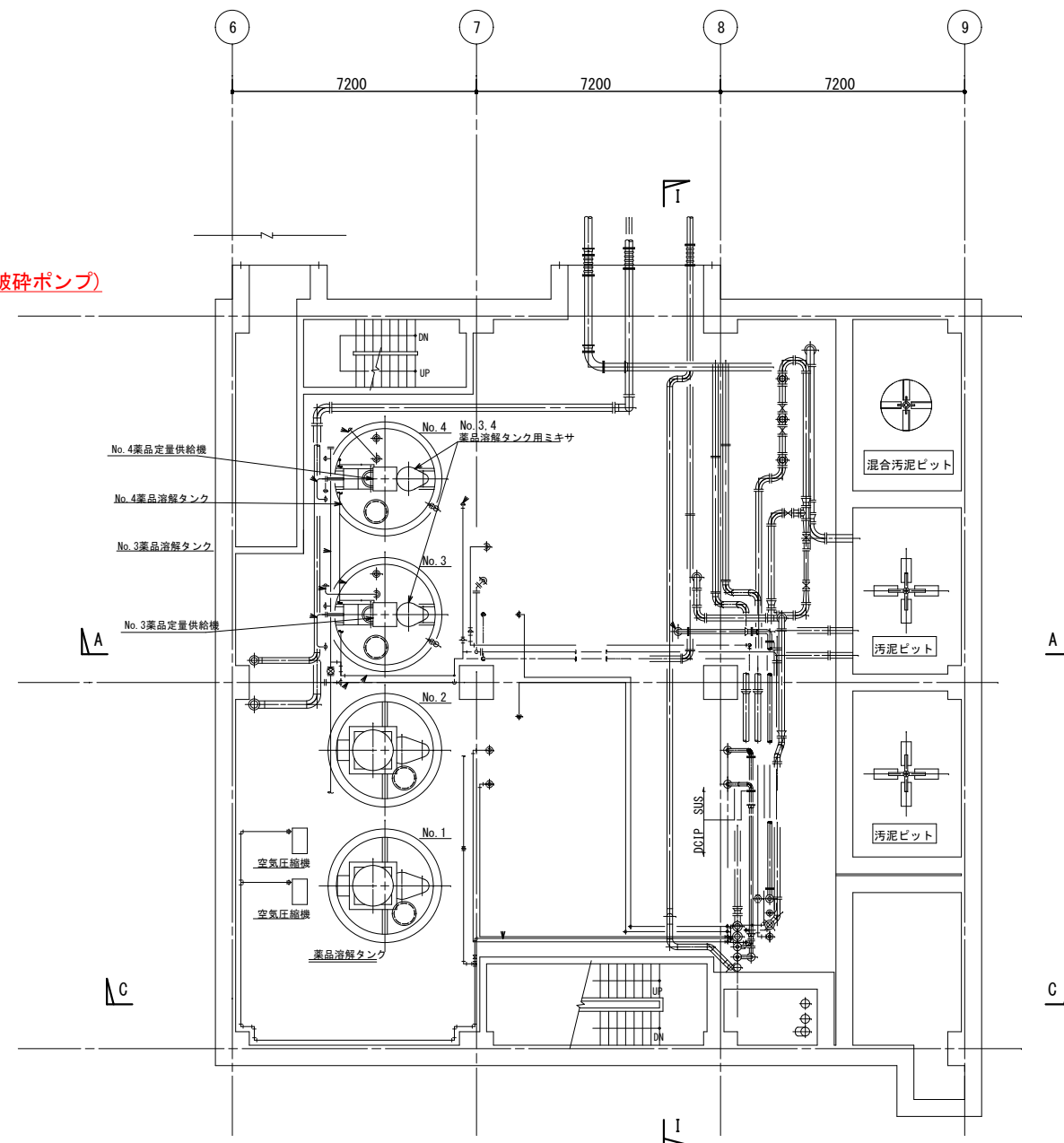
工事名称 甲府市浄化センター脱水機棟No.2破砕ポンプ更新工事  
図面名称 案内図・平面図

M02

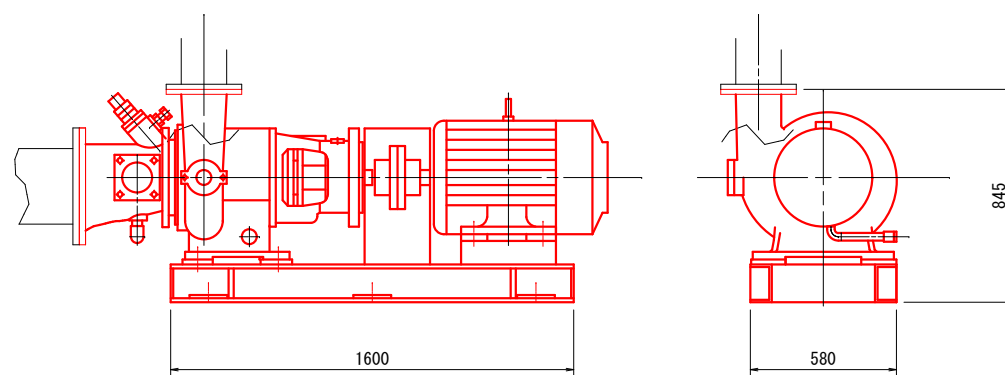
No.



地下1階 ポンプ室下部平面図 (参考) S=1/100



地下1階 ポンプ室上部平面図 (参考) S=1/100



汚泥破砕ポンプ外形図 (参考) S=1/15

- 注記
- ・基礎、アンカーは再利用とする
  - ・アンカーは引張試験を行うこと
  - ・ポンプ撤去据付時に化粧モルタルが剥がれた部分については、補修すること

工務部 下水道管理室 浄化センター

担当  
有泉

縮尺  
S=1/100, S=1/15  
設計年月  
令和7年7月

工事名称 甲府市浄化センター脱水機棟No.2破砕ポンプ更新工事  
図面名称 汚泥脱水機棟地下1階機器配置平面図・破砕ポンプ外形図

M03  
No.